

# 長期留学報告！（アメリカ インディアナ州）

42期 蛭子義仁

2021年10月～2022年8か月間インディアナ州 Kokomo High School に留学しました。

## 1. 留学前

中学2年生の夏休みにモンタナ州に短期留学し、考え方や生活様式の違いを肌で感じ、多くのことを学ぶことができたので、本格的に長期留学したいと思いました。2020年8月、つまり2年生の夏から手続きを始め、3年生の夏休みから1年間の留学を計画しました。ところが、2020年1月からコロナが世界的に流行し海外渡航が規制され、留学ができるかどうか分からない状況で、周囲から今回はやめたほうがよいのではないかとの声もありましたが、自分は留学を諦められず、最終的に当初より2か月遅れで出国しました。

学習面での準備としては、主催者団体が設置している4技能試験に向けてリスニング・スピーキングの強化を図りました。それを合格した後は、学校の勉強以外に、オンラインで定期的に英語を使うように心がけました。

## 2. 留学中

### 2.1. 学業

Kokomo High School (<https://khs.kokomoschools.com/>)は、生徒数が1,800を超える大規模校です。単位制で必修が1, 2科目でそれ以外は選択授業。私は、英語文学（国語）、数学、物理、アメリカ史を取りました。一斉授業もありますが、発表をする機会がたくさんありました。ディベート(4名×2)、プレゼン(7分間)、グループでポッドキャストを作るというユニークな活動も頻繁にありました。ポッドキャスト作成で、グループに韓国の留学生がいたので、「辛ラーメンの世界シェアが高い理由」について4人でトークをしたこと、プレゼンでは、「人工中絶の是非について」話したことが印象に残っています。

### 2.2. 英語力について

初めの3ヶ月は非常に大変きつかったです。何か質問を投げかけられても、英語で返すことができず、奮闘しました。その後は少しずつ理解できるようになり、友達が増えて、楽しさが増してきました。5ヶ月経ったころから、日常会話なら問題なくコミュニケーションが取れるようになりました。

### 2.3. 生活

コロナの影響でホームステイではなく、学生寮に入りました。留学生は7人、いずれもアジア系。

放課後はジムに通ったり友人と時間を過ごしていました。また休日にはNBA シカゴブルズ（バスケットボール）や、アメフトの試合を見に行ったり、Kokomo High School のバスケットチームも応援したりしました。

生活面で苦労したことは、インフレ・円安です。日本出港時1ドル110円だったのが140円までに進みました。買い物に大きく影響しました。野菜などの生鮮食品を買うのに苦労しました。

気候は、夏は過ごしやすいが、冬が寒く、零下で雪も60cm位積もっていました。雪で1週間休校になり、その際は、交通インフラ、お店がクローズしたこともあります。

## 3. 留学を終えて&成高生へ

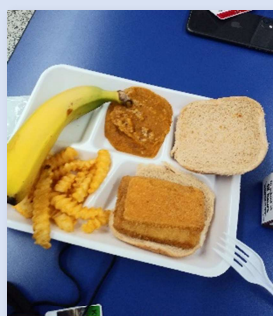
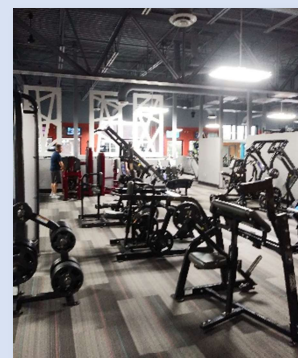
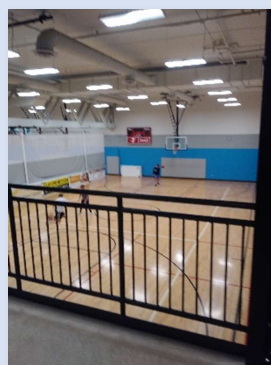
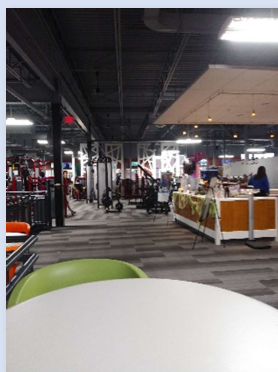
留学を通して、言語力は勿論ですが、異なる文化背景の人と接して成長することができました。また、アメリカの国民性を知るとともに、日本の良さを改めて感じました。相手の立場に立って考えて、思いやりを持つことができるのは、日本人の特技だと思います。親切、丁寧、謙虚であることがよいところです。それに比べて、アメリカでは、自分の意見を積極

的に相手に伝えることが上手で、気持ちの切り替えが早く、グループワークに長けていると思いました。

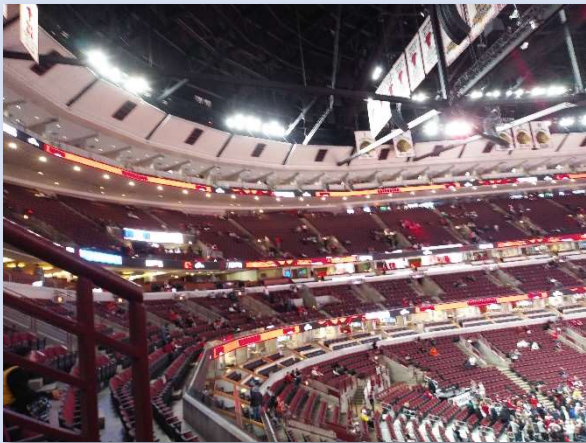
現地ではたくさんの友達ことができました。コミュニケーションは、言語だけでなく、非言語の要素も大きく影響するので、間違いを恐れずに積極的に話しかけて人間関係を構築していくとよいと思います。相手を知りたいと思う気持ち、相手のことを理解しようとする姿勢が大切だと思います。

#### 4. 現地の様子（写真）

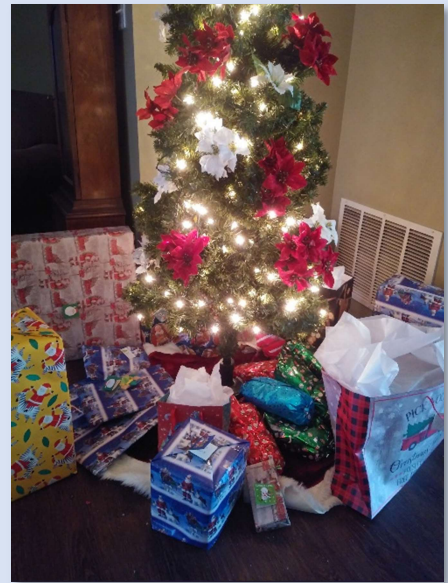
スクールバス、学校の敷地内のジムの様子、教室、カフェの様子



NBA シカゴブルズ (バスケットボール) 、アメフトの試合、Kokomo High School のバスケットチームの応援



クリスマスの様子



以上